

第2回地域再生大賞

優秀賞の愛林館（水俣市）表彰

地域活性化に取り組み、優秀賞の「水俣市」を支援しようとする「水俣市」と、熊日など全国の地方新聞社と共同通信社が設けた「第2回地域再生大賞」の表彰式・シンポジウムが23日、東京都内で開かれた。大賞に輝いた「ブルーリバー」（広島）のほか、式典には約170人が参加。松田正己・大



第2回地域再生大賞の優秀賞を受賞する水俣市久木野ふるさとセンター愛林館（右） 23日午後、東京・内幸町の日本プレスセンター

賞の37団体にも賞状を贈り貢献をたたえた。

続いてシンポジウムを開催。講演した片山善博・前総務相は、過疎化・高齢化の進行を踏まえ「支え合って生きる環境づくりが大切」と述べた。

ブルーリバーの岩崎積専務は「子どもたちを呼び込み、住民が安心して暮らせる地域を」と意欲を表明。岡本義行・選考委員長

（法政大学院政策創造研究科長）は「自らサービスを提供する受賞団体が多かった。地元で働ける地域をつくる必要がある」と提起した。

Q&A

地域再生大賞 地方新聞46紙と共同通信社が2010年度から設

置。地方の疲弊を打破しようとする取り組みの支援を狙い。専門家をつくる選考委員会（委員長・岡本義行法政大学院政策創造研究科長）が審査。第1回は「グラウンドワーク三島」（静岡）が大賞、「県立柏原病院の小児科を守る会」（兵庫）と「倉敷町家トラスト」（岡山）が準大賞を受賞した。

賞実行委員長（山陽新聞社取締役編集局長）は「大震災以降、特性を生かした地域づくりが求められている。受賞団体はけん引役として活躍を」とあいさつ。賞状とともにブルーリバーに副賞100万円、準大賞の「定禅寺ストリートジャズフェスティバル実行委員会」（宮城）と「大宮産業」（高知）には副賞30万円を、それぞれ手渡した。「千葉之家花駒座」（福島）などブロンク賞5団体と「遠野まごころネット」（岩手）など特別賞5団体に、それぞれ賞状と副賞10万円を贈呈。優秀